

指標 17.1.1

指標名、ターゲット及びゴール

指標 17.1.1 GDPに占める政府収入合計の割合（収入源別）

ターゲット 17.1 課税及び徴税能力の向上のため、開発途上国への国際的な支援なども通じて、国内資源の動員を強化する。

ゴール 17 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

定義及び根拠

○ 定義

本指標は、GDPに占める政府収入合計の割合（収入源別）を示している。

○ 概念

政府収入は、GFSM2014において取引によって生じる純資産の増加と定義されている。政府収入の主な分類には、税、社会負担、交付金及びその他の収入の4つがある。分類の詳細は、GFSM2014に記述されている。

○ 根拠及び解釈

本指標は、政府における税収入とそれ以外の収入の規模を示している。本指標は、政府収入の主要4分類の関係性について国家間で比較可能なデータとなるであろう。

データソース及び収集方法

政府収入（収入源別）及びGDPに関するデータは内閣府『国民経済計算』による。

算出方法及びその他の方法論的考察

○ 算出方法

$$\text{GDPに占める政府収入合計の割合（収入源別）} = \text{政府収入（収入源別）} \div \text{GDP} \times 100$$

○ コメントと限界

なし。

データの詳細集計

収入源別

参考

SDG 指標メタデータリポジトリにおける「17.1.1 指数」（2017 年 11 月更新版）。

<https://unstats.un.org/sdgs/metadata/files/Metadata-17-01-01.pdf>

データ提供府省

内閣府経済社会総合研究所

関連政策府省

財務省

担当国際機関

国際通貨基金（IMF）